

株式会社フィスコ 事業の御報告

第17期（平成22年1月1日-12月31日）



株主の皆様へ

株主の皆様におかれましては、ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

平素は格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

当社第17期（平成22年1月1日～平成22年12月31日）が終了いたしましたので、同期における当社の事業概況についてご報告申し上げます。

また、平成23年3月25日には第17回定時株主総会を開催し、招集ご通知にてご案内のとおり、報告および決議を下記のように行いました。

報告事項

「第17期（平成22年1月1日から平成22年12月31日まで）事業報告、計算書類及び連結計算書類ならびに会計監査人及び監査役会の連結計算書類監査結果報告の件」

決議事項

- 第1号議案『取締役5名選任の件』 原案どおり承認可決されました。
- 第2号議案『監査役1名選任の件』 原案どおり承認可決されました。

第18期も、皆様のご期待にそえるよう、事業成長・企業価値向上に全力を傾注して努める所存でございます。

株主の皆様におかれましては、引き続きご支援のほど何卒よろしくお願い申し上げます。

株式会社フィスコ 代表取締役社長 狩野 仁志

【第17期事業ハイライト】（連結）

- 売上高 881百万円（前期比152百万円の減少）
- 営業利益 △45百万円（前期は営業利益4百万円）
- 経常利益 △29百万円（前期は経常損失4百万円）
- 当期純利益 14百万円（前期は当期純損失15百万円）※4期ぶりの当期純損益黒字化達成。

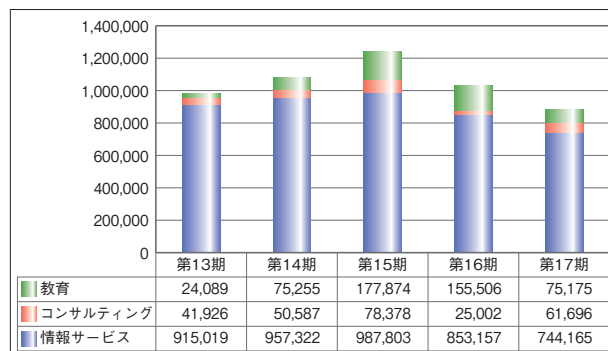
詳細は、次ページ以降の連結財務諸表の各要約をご参照ください。

<当期の主な取組み>

- ◆第三者割当増資（894百万円）による財務基盤強化により、平成22年12月末には自己資本比率が90.2%になりました。
- ◆不採算部門からの撤退、フィスコプレイス社の吸収合併など収益構造の改善を図りました。
- ◆人材の流動化、活性化に取組みながら、オペレーションの最適化、コンテンツ制作の多極化によるコスト構造改善を推し進め、販売費及び一般管理費の徹底した見直しを実施いたしました。
- ◆平成22年10月より単月ベースで営業損益が黒字に転換し、当期におきまして当期純利益を計上し、営業キャッシュ・フローも前期に引き続き計上したことにより継続企業の前提に重要な疑義を生じさせるような事象を解消しました。
- ◆新規事業展開に向けた業務提携（中金オンライン社および青山総合会計事務所）と子会社（3社）設立を実施しました。

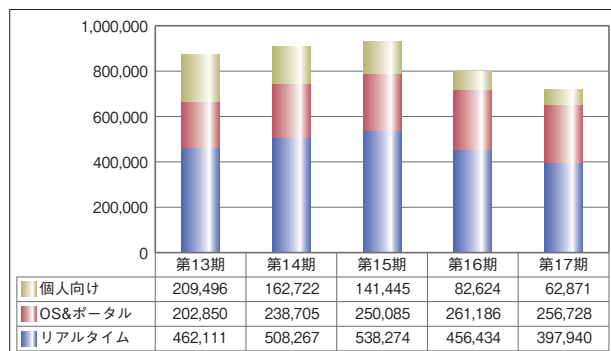
【セグメント別事業の推移】

（単位：千円）



【情報サービス事業における主要3サービスの推移】

（単位：千円）



連結財務諸表

連結貸借対照表（要約）

当期においては、平成22年3月に第三者割当による新株式を発行し、894百万円の資本増強をいたしました。その結果、当期末の資産合計は1,493百万円となり、前期末と比較して、677百万円増加となり、現金及び預金については744百万円の増加となりました。

連結貸借対照表における主な変動要因を、以下にご説明いたします。

(単位：百万円)

資産の部 主な変動要因	前期末		当期末	増減
	平成21年12月	平成22年12月	平成22年12月	
①現金 +744百万円 ・第三者割当増資による新株式発行	(資産の部)			
②商品 △23百万円 ・シグマベイスキャピタル(株)連結除外による減少	流動資産	508	1,201	692
③有形固定資産 △15百万円 ・減価償却と不採算部門からの撤退による減少等	固定資産	308	288	△19
	有形固定資産	55	40	△15
	無形固定資産	34	33	0
	投資その他の資産	217	214	△3
	資産合計	816	1,493	677
負債の部 主な変動要因	(負債の部)			
借入金返済（短期・長期） △173百万円 ・シグマベイスキャピタル(株)連結除外による減少	流動負債	174	81	△93
・当社借入金の返済による減少	固定負債	184	65	△119
	(純資産の部)			
純資産の部 主な変動要因	純資産	457	1,347	890
①資本金 +447百万円	負債・純資産合計	816	1,493	677
②資本準備金 +447百万円 ・第三者割当増資による増加				
③利益剰余金 +14百万円 ・当期純利益の計上				

連結株主資本等変動計算書（要約）（自平成22年1月1日 至平成22年12月31日）（単位：百万円）

	株主資本					評価・換算差額等			純資産計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計	その他有価証券評価差額金	為替換算調整勘定	評価・換算差額等合計	
平成21年12月31日残高	748	402	△641	△43	466	△0	△8	△8	457
当期の変動額									
新株の発行	447	447			894				894
当期純利益			14		14				14
株主資本以外の項目の当期の変動額（純額）						0	△18	△18	△18
当期の変動額合計	447	447	14	—	909	0	△18	△18	890
平成22年12月31日残高	1,195	850	△627	△43	1,375	△0	△27	△27	1,347

連結損益計算書（要約）

当期の売上高は881百万円（前期比152百万円（14.8%）の減少）、売上原価は310百万円（前期比54百万円（14.9%）の減少）、販売費及び一般管理費が615百万円（前期比48百万円（7.3%）の減少）となり、営業損失を45百万円（前期は営業利益4百万円）計上いたしました。また、経常損失は29百万円（前期は経常損失4百万円）となりましたが、関係会社株式売却益49百万円の計上等、不採算部門の撤退により、当期純利益は14百万円（前期は当期純損失15百万円）となりました。

連結損益計算書における主な変動要因を、以下にご説明いたします。

（単位：百万円）

売上高	△152百万円（前期比）
①情報サービス事業	△108百万円
・法人向けリアルタイムサービス	△58百万円
・法人向けアウトソーシングサービス	△15百万円
・ポータルサービス	+10百万円
・個人投資家向けサービス （クラブフィスコ、LaQoo+）	△19百万円
②コンサルティング事業	+36百万円
③教育事業	△80百万円

販売費及び一般管理費	△48百万円（前期比）
事業構造改革による経費削減	△48百万円
グループ内の大規模な組織再編をはじめとした事業構造改革の実施により、販売費及び一般管理費が、前期と比較して7.3%減少しました。	
今後もコストの抑制は継続し、効率のよい企業体質を維持していく方針です。	

特別利益	63百万円（当期計上額）
・関係会社株式売却益	49百万円
・金融商品取引法に基づく不正利益取戻益	11百万円
・貸倒引当金戻入額	1百万円
特別損失	18百万円（当期計上額）
・貸倒引当金繰入額	11百万円
・固定資産減損損失	2百万円
・保険解約損	1百万円
・関係会社株式評価損	1百万円

利益配分について
当社は株主の皆様に対する安定かつ継続的な利益還元を経営における最重要課題のひとつと認識しております。
そのためには、市場環境に順応する柔軟かつ強固な経営基盤を確立し、既存事業の拡充とともに内部留保による資源をもとに成長分野への参入を進め、収益性を高めてまいります。平成22年12月期は、当期純利益を計上しているものの、財務体質の強化を優先し配当を見送らせていただきましたが、収益基盤の再構築を図り、早期に復配を実現できるよう尽力してまいります。

	前期 平成21年1月1日～ 平成21年12月31日	当期 平成22年1月1日～ 平成22年12月31日	増減
売上高	1,033	881	△152
売上原価	364	310	△54
売上総利益	668	570	△98
販売費及び一般管理費	664	615	△48
営業利益	4	△45	△49
営業外収益	1	22	20
営業外費用	10	7	△3
経常利益	△4	△29	△25
特別利益	13	63	50
特別損失	21	18	△3
税金等調整前当期純利益	△12	15	28
当期純利益	△15	14	29

連結キャッシュ・フロー計算書（要約）	（単位：百万円）		
	前期 平成21年1月1日～ 平成21年12月31日	当期 平成22年1月1日～ 平成22年12月31日	増減
営業活動によるキャッシュ・フロー	27	4	△23
投資活動によるキャッシュ・フロー	△3	△28	△25
財務活動によるキャッシュ・フロー	△18	826	844
現金及び現金同等物の期末残高	319	1,064	744

【会社概要】 平成22年12月31日現在

商号 株式会社フィスコ
本店 東京都千代田区九段北4丁目1番28号
九段ファーストプレイス7階
代表者 代表取締役会長 三木 茂
代表取締役社長 狩野 仁志
設立年月日 平成7年5月15日
資本金 1,195百万円
決算期 12月

【役員】 平成23年3月25日現在

代表取締役会長 三木 茂
代表取締役社長 狩野 仁志
取締役 上中 淳行
取締役 伊藤 正雄
取締役(社外) 後藤 克彦
常勤監査役(社外) 麻生 修平
監査役(社外) 中道 賢一
監査役 田野 好彦

【株主メモ】

事業年度	1月1日～12月31日
期末配当金受領株主確定日	12月31日
中間配当金受領株主確定日	6月30日
定時株主総会	毎年3月
株主名簿管理人	三菱UFJ信託銀行株式会社
特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同連絡先	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号 TEL 0120-232-711 (通話料無料)
上場証券取引所	大阪証券取引所 JASDAQ
公告の方法	電子公告により行う 公告掲載URL http://www.fisco.co.jp/notification/index.html (ただし、電子公告によることができない事故、その他のやむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に公告いたします。)

(ご注意)

- 株券電子化に伴い、株主様の住所変更、買取請求その他各種手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- 特別口座に記録された株式に関する各種手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問合せください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にでもお取次ぎいたします。
- 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

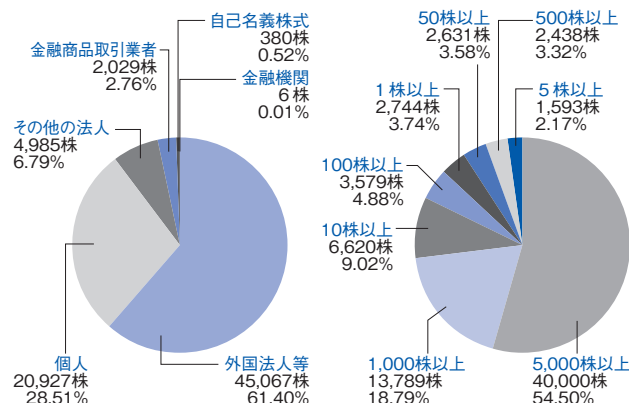
【株式の状況】 平成22年12月31日現在

発行可能株式総数 200,000株
発行済株式の総数 73,394株(自己株式380株を含む)
株主総数 2,320名

大株主(上位10名)	持株数(株)	持株比率(%)
シークエッジ インベストメント インターナショナル リミテッド	40,000	54.78
バンク オブ イースト エイジア ノミニーズ リミテッド	3,100	4.25
三木 茂	2,999	4.11
株式会社 サンジ インターナショナル	1,876	2.57
楽天証券株式会社	1,475	2.02
朝田 英太郎	1,239	1.70
トムソン ロイター (マーケッツ) エス エイ	1,100	1.51
株式会社 ASA GLOBAL	1,000	1.37
株式会社 ジオックス	1,000	1.37
荒川 忠秀	656	0.90

- (注) 1. 持株比率は自己株式(380株)を控除して計算しております。
2. 持株比率は、小数点第2位未満を四捨五入しております。

【株式分布状況】 平成22年12月31日現在



IRサイトのご紹介

当社は、金融商品取引法および証券取引所の定める「適時開示規則」に則り、全ての株主・投資家の皆様に対し、迅速で公平、かつ正確な情報開示に努めております。

☑ IRインフォメーション ☑ IRスケジュール

☑ 業績ハイライト ☑ IR資料室

☑ 株価情報 ☑ 電子公告

☑ 株式の概要 ☑ IRお問い合わせ

☑ 株主構成

<http://www.fisco.co.jp/>

フィスコ

検索

